

II 財務の視点>資金力>資金調達力>銀行融資の仕組み>資金調達力の目安

信用格付が高いほど、資金調達力は大きい

信用格付・債務者区分		担保・保証の状況および資金用途					
信用格付	債務者区分	優良担保を提供	優良保証を提供	正常な運転資金	一般担保を提供	一般保証を提供	無担保・無保証
1	正常先	○	○	○	○	○	○
2		○	○	○	○	○	○
3		○	○	○	○	○	○
4		○	○	○	○	○	○
5		○	○	○	○	○	△
6		○	○	○	○	○	△
7	要注意先	○	○	○	△	△	×
8	要管理先	○	○	△	×	×	×
9	破綻懸念先	○	○	×	×	×	×
10	実質破綻先	○	○	×	×	×	×
11	破綻先	○	○	×	×	×	×

↓
融資不適格

○: 資金調達可 △: 状況によっては資金調達できない場合もある ×: 資金調達不可

- 優良担保 預金、満期返戻金のある保険、国債など → 時価or時価×70%~95%で評価
- 優良保証 信用保証協会の保証、金融機関の保証、上場かつ有配の一般事業会社の保証など → 保証額で評価
- 正常な運転資金 (売上債権)+(棚卸資産)-(仕入債務)
- 一般担保 不動産担保、工場財団担保、債権動産担保(ABL) → 時価×70%で評価
- 一般保証 親会社等の保証、経営者保証 → 保証能力の範囲内
- 無担保無保証 担保・保証によって保全されていない融資 → 債務償還年数10年以内に収まる範囲内

出所 金融庁「預金等受入金融機関に係る検査マニュアル(金融検査マニュアル)」より作成